

別記
第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

令和 5年 2月28日

コミュニティ名 ALLWEL
代表者所属名 城陽市立今池小学校
代表者職・氏名 教諭 岡 結子

京都府若手教員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 コミュニティ名

ALLWEL

2 研究テーマ

認知能力と非認知能力を一体で育む国語教育の実現

3 研究の目的

本コミュニティの目的は、教員の「学びたい気持ち」を核として、子どもの資質・能力の向上を図るため、いつでも目の前の子ども達に寄り添い、共に研究をし続けることにより、参加教員の資質・能力の向上を図ることである。

学習指導要領及び第2期京都府教育振興プランの理解を深めることはもちろん、すべての子どもを大切にすることを実践することにより、同和教育の成果と手法を具現化する。国語科の授業を中心に、目の前の子どもたちの実際の学んでいる姿や今日的課題を踏まえて、学ぶ意義を実感できる実践を創造し、道德教育の充実と連携させながら、認知能力と非認知能力の一体的な育成の授業づくりにつなげる。

また、学んだことを学校や学級の実態に応じて工夫して実践するだけでなく、結果を共有し、研修で学んだことをさらに深めた交流を行うことで、参加教員の資

質・能力を相互に高め、常に研鑽し続ける姿勢を涵養していくと共に、様々な課題を自ら解決していこうとする教員を目指す。

4 研究の成果と課題

1 成果

月に一度以上勉強会を開くことができた。対面で会い、日々の様子を交流する中で自分の学級や授業実践をふりかえったり、違う学校の様子や実践にふれたりすることで、自分の授業改善に活かせることができた。

所属メンバーが若手から中堅までいることで、日々の悩みを共有することができた。

2 課題

メンバー全員がそろう機会が少なかった。

また、所属メンバーの勤務年数がまちまちなので、研修のゴールを設定することが難しかった。

5 研究成果の波及方法

事前研究会及び事後研究会を含む公開授業や研修会の実施
参加教員の学校にて研究成果の広報

6 研究（活動）実績*

回	日時	内容	記録	場所
65回	4. 8 19:00—	新学級における 学力分析	講師：松本指導主事・中村指導主事 4月に担当学級の学力分析を行うことで受け持った子どもたちの学力面を把握し、授業展開の参考にすることができる。個別の結果からは非認知面も垣間見ることができるので、実際に会った感触を大事にしつつ参考にする。	福祉センター
66回	5.20 19:00—	単元構想・評価	講師：中村指導主事 6年生「円の面積」を使って指導と評価の一体化を実現できるような単元構想を考える。指導書を鵜呑みにして取り組むのではなく、学級の児童に合わせながら、目標を達成できるように、縦と横のつながりを大切にしながら考える。	福祉センター
67回	6.11 13:30—	【他研修へ参加】 横山利弘先生を 囲む会（道徳）	教材「智行と道心」を基に、道徳科の目標を達成できるような発問や授業作りについての講義を聞く。 授業は指導要領の内容項目を確認しながら行うこと、教材は本質を捉え、無駄な発問を省き、精選すること。	兵庫県学校厚生会館

68回	6.12 9:00—	【OL学校公開】 筑波大学附属小学校	「大きなかぶ」や「たずねびと」などの授業や講義を試聴する。子どもが主体的に取り組むには、どのように教材研究をすれば良いのか、アプローチの方法があるのかを学ぶ。	福祉センター
69回	6.17 19:00—	・校内研修の持ち方 ・働き方改革	構成メンバーも中堅が増え、校内研修を任せられるようになってきた。合わせて、諸々の仕事量の増加から残業時間も増えてきた。自分の働き方を見直したり交流したりすることで効率よく仕事を進めるにはどうしたら良いのかを考えることができた。	福祉センター
70回	7.21 19:00—	実技教科における評価方法	体育「マット運動」の思考・判断・表現の評価の取り方について勉強会を行った。指導要領をもとに、時に文部科学省YouTubeを参考にしながら効果のある時間となるよう工夫していくことの大切さを実感できた。	福祉センター
71回	8.9 13:00—	道徳科の教材研究	主発問を考えることを通して、教材研究の大切さを実感することができた。	オンライン 福祉センター
72回	8.25 13:00—	国語科の教材研究 図工科の教材研究	「ごんぎつね」の教材研究を通して、教材研究の土台作りを行った。作者に対しても理解を深めることでより指導の幅が広がることを学んだ。	城陽市立 今池小学校
73回	9.9 18:30—	国語化の教材研究	研究授業に向けて「お手紙」の教材研究を行った。視点や描写を細かく読み取ることの大切さを共通理解できた。	福祉センター
74回	10.5 18:30—	国語化の教材研究	「お手紙」の本時案検討を行った。評価のあり方や、本時の発問について協議をした。	福祉センター
75回	11.7 13:25—	【研究授業】 山田荘小学校 教諭 角田啓介 2年「お手紙」	山田荘小学校の角田啓介教諭による授業公開。 オンラインではなく現地で直に子どもたちの様子を見ることで、子どもたちの閃いた瞬間や困っている様子などを臨場感を持って感じることができた。 事後研究会についても、その日に行くことでより理解を深めることができた。	精華町立 山田荘小学校
76回	11.23 13:00—	【他研修へ参加】横山利弘先生を囲む会（道徳）	道徳科で大切なこと、「生きることに意味を持つ子どもたちを育てること」についての講義を聞いた。	福祉センター
77回	12.2 18:30—	国語科教材研究 「大造じいさんとガン」	1月の研究授業に向けて協議を行った。 新しく学習すること、既習事項を使って考えさせることの棲み分けを行いながら子どもたちに学習させることを全体で共有した。	福祉センター
78回	12.4 9:30—	算数科のオンライン研究会	筑波大学附属小学校算数部の勉強会にオンラインで参加した。既習事項を使って考えや発想を広げながら答えに辿り着く手法を学ん	自宅

			だ。	
79回	1.24 14:30-	【研究授業】 今池小学校 教諭 岡結子 5年「大造じい さんとガン」	情景描写の効果について城陽市立今池小学校岡結子教諭が研究授業を行った。 子どもが自ら学びを広げていく姿勢や、「授業で学級作りをする」とはどういうことかを、講義を聴きながら学んだ。	城陽市立 今池小学 校
80回	2月	標準学力調査テ ストの分析	標準学力調査の結果から、帳票の見方や授業実践とのつながりについて分析を行った。併せて、非認知能力の向上も学力の向上につながることを学び、検証できた。	福祉セン ター
81回	3月	新学期の国語科 教材研究	実施予定	
82回	3月	まとめ	実施予定	